

著者略歴

大平 辰朗 (おおひら たつろう)

1963年 愛知県豊橋市生まれ
1986年 静岡大学農学部林産学科卒業
農林水産省林野庁管理部管理課財務分析係
1987年 農林水産省林業試験場林産化学部木材炭化研究室研究員
1995年 農学博士号取得(筑波大学)
1997年 農林水産省森林総合研究所生物機能開発部主任研究官
2003年 独立行政法人森林総合研究所樹木抽出成分研究室長、現在に至る。

専門分野は、天然物化学、バイオマス化学。
現在の研究分野は、樹木の香り成分の特性と機能性の解明、グリーンテクノロジーによる成分変換・効率的抽出法の開発、木酢液・木炭の新規利用法の開発、など。

公的活動としては、
東京大学大学院農学生命科学研究科非常勤講師、
静岡県工業技術センター客員研究員、
木・竹酢液認証協議会理事、
農業土木学会資源循環研究部会理事、
農学生命科学研究支援機構理事、
国土交通省揮発性物質排出抑制対策委員会委員、
環境省VOC排出抑制対策委員会委員、
木質炭化学会誌編集委員長、
におい・かおり環境学会誌副編集委員長、など。

受賞歴としては、
1998年日本木材学会奨励賞受賞「超臨界流体による森林資源からの生物活性物質の高選択的抽出に関する研究」、
2010年におい・かおり環境学会学術賞「森林の香り、木材の香り」、
2011年日本木材学会技術賞「樹木精油を利用した環境汚染物質除去剤の開発」。

主な著書

森林の100不思議(分担執筆、東京出版、1988年)、
ウディライフを楽しむ101のヒント(分担執筆、東京出版、2000年)、
最新木材工業事典(分担執筆、日本木材加工技術協会、1999年)、
香りと環境(分担執筆、フレグランスジャーナル社、2003年)、
天然資源循環・再生辞典(分担執筆、丸善、2003年)、
シックハウスと木質建材(分担執筆、林業科学技術振興所、2004年)、
木材工業ハンドブック(分担執筆、丸善、2005年)、
香り百科事典(分担執筆、丸善、2005年)、
森林と木材を活かす大事典(分担執筆、産業調査会、2007年)、
エコマテリアルハンドブック(分担執筆、丸善、2006年)、
森林の香り、木材の香り(単著、八十一出版、2007年)、
ウッドケミカルの技術(共著、シーエムシー出版、2007年)、
超臨界流体技術の開発と応用(共著、シーエムシー出版、2008年)など。

上記の現職は著書発行年月日現在のものです。